

市民フォト

# 鹿児島

No.52

平成5年(1993)4月1日

特集・花は心のパートナー



## ●小松原上空から東谷山・希望ヶ丘方面



手前の産業道路と国道225号に挟まれているのが小松原一・二丁目、その向こうに東谷山一～五丁目が広がり、左上は上福元、希望ヶ丘、自由ヶ丘一・二丁目、中山、右上は魚見、桜ヶ丘一～六丁目の各町へと続く。小松原のあたりは、かつて松林が続き、潮干狩や海水浴でにぎわったところである。この海岸線は、鹿児島臨海工業地帯の3号用地として昭和44年から46年にかけて埋め立てられた。

写真中央下から中央上に伸びている道路が去年3月に開通した市道「小松原・山田線」である。産業道路の鹿児島南警察署前から中山団地などを抜けて山田町までを結んでいる。交通渋滞の解消に大きな役割を果たしているとともに、東西幹線道路の機能も持っている。沿線の上福元町・奥や中山町・入来の付近では店舗や住宅の建築が進み、鹿児島市の副都心・谷山に新しいまちが誕生しつつある。



## もくじ

わがまち高度350m ..... 2  
特集／花は心のパートナー ..... 3  
クローズアップ（玉利信一さん） ..... 12  
学校探訪（改新小学校） ..... 14  
カメラトピックス ..... 15  
シティーアングル ..... 13

ハロー鹿児島（国際交流サッカー大会） ..... 18  
わたしの散歩道（早坂祥三さん） ..... 21  
市民のひろば ..... 22

（降灰の中でたくましく～東桜島の農業・水産業） ..... 25  
ふるさとの史跡（桂庵玄樹の墓） ..... 25

集えば楽し（鹿児島少年ラグビースクール） ..... 26  
あなたのフォトサロン（夕景・夜景撮り歩き） ..... 27  
動物公園のゆかいな仲間たち ..... 28

市立美術館「象嵌磁泰山木大皿」 ..... 29  
31 30

（降灰の中でたくましく～東桜島の農業・水産業） ..... 25  
ふるさとの史跡（桂庵玄樹の墓） ..... 25  
集えば楽し（鹿児島少年ラグビースクール） ..... 26  
あなたのフォトサロン（夕景・夜景撮り歩き） ..... 27  
動物公園のゆかいな仲間たち ..... 28  
市立美術館「象嵌磁泰山木大皿」 ..... 29  
31 30

### ●表紙「写真説明

鉢花は、暮らしを演出してくれる生きたインテリア。上品で清楚な雰囲気のコチョウランは、人気の高い洋ランの一種です。原産地東南アジアに近い環境にしてあるハウスの中では出荷される花々が美しさを競っています。

（人物は、ミス鹿児島の橋口英子さん（中央）と下福元町の荒木秀美さん、美帆子さん親子）

# 特集 花は心のパートナー

部屋の装飾、誕生日や母の日・父の日、結婚など記念日の贈り物、お中元・

お歳暮、お見舞い、先祖の供養、ひな祭りやクリスマスなどの行事、愛の告白……。

自ら、そして周囲の潤いのために、また、気持ちを伝える手段として、

私たちは花を愛してきました。さらに、今や花と緑は地球環境を守り、

平和な社会をつくっていく象徴ともなっています。

緑が豊かで、四季折々の花で彩られるまち鹿児島。なかでも、春は華やかな季節です。今回は、さまざまに私たちを楽しませてくれる花について、

身近な事情を特集してみました。



# したしむ

「花は主の心の色に咲く」——どんなに美しい花を買っても花を愛する心がなければ、花はその輝きを増してはくれない。鹿児島市の全国都市部における一世帯あたりの切り花の消費量は全国一位である。この数字が示すように、鹿児島市を取り巻く花事情はまさに華やか。花を愛し、花を楽しむ人は確実に増えつつある。



■ただいま修行中! 花を生けて心安らぎ、鑑賞しても心潤う生け花。ここ勤労青少年ホームの生け花講座は今日も若い人でいっぱい。



■花に対する感性を磨き、自由なイメージで花をデザインしていく。フラワーデザインの限りない魅力がそこにはあります。

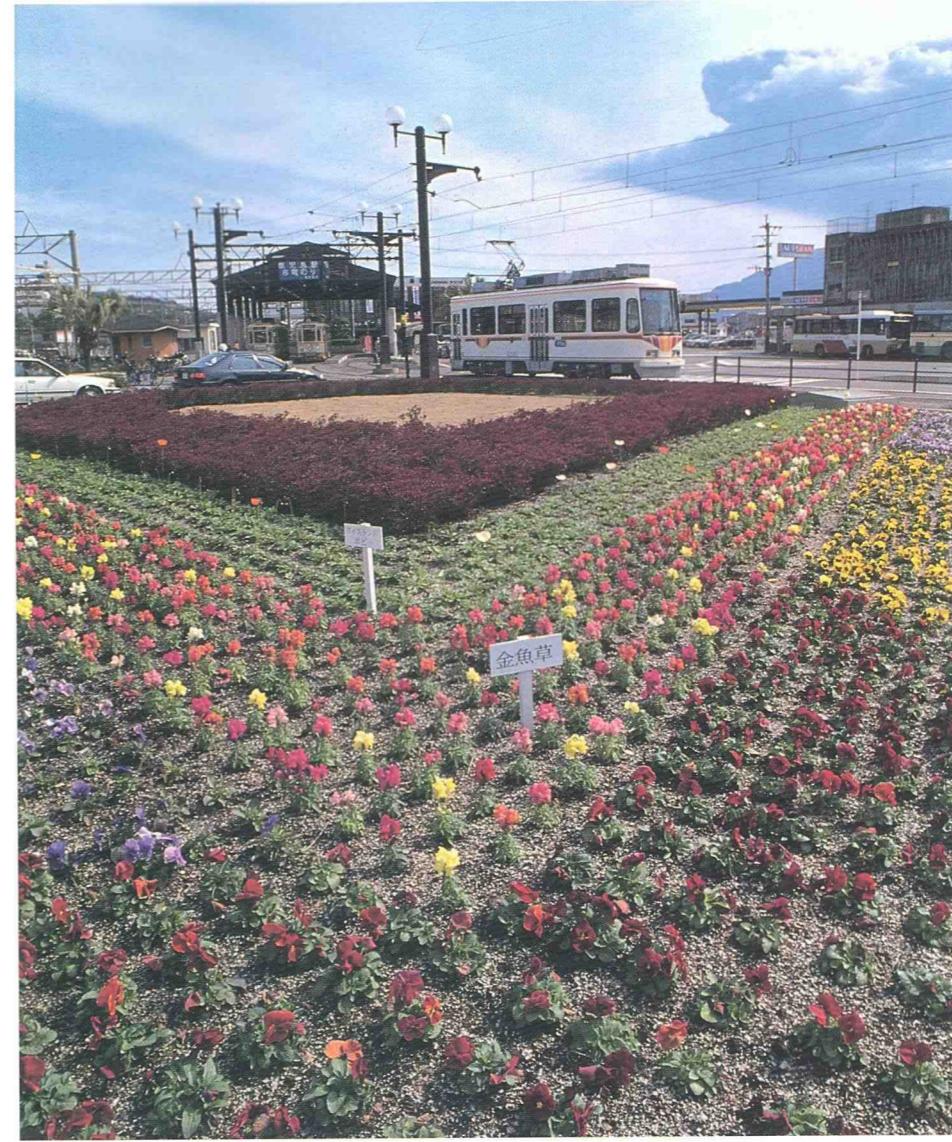
あなたの感性で一輪の花が今、花開く。  
太古の昔から人の心をとらえて離さない「花」……。  
その昔、アダムとイブが出会ったころ、  
その食卓のフルーツには  
美しいサフランの花が添えられていたという。



■鹿児島のお墓は毎日花が絶えません。先祖を大切にし、花を愛する県民性の表れでしょうか。手向ける花に気持ちを込めて……



■お墓参りの人を見守り続ける花屋さん。最近は菊などの和花に加え、カーネーション、金魚草などの洋花を求める人も多いとか。敬いの心をお花で支えます。



■市内41カ所に設置された花壇は街のオアシスとして、四季の花いっぱいのまちづくりに一役買っています。～鹿児島駅前～



■香りに酔ってしまうほどの蘭、蘭、蘭。華麗な色彩とグリーンのコントラストは目にまぶしいくらい。  
～かごしま熱帯植物園にて～



■連日、大勢の人でにぎわった'93かごしま花の祭典。フラワーデザインなど、いろんな花の楽しみ方の提案に歩みを止めて見る人も多く、鹿児島の人への花への関心の高さに驚きました。



# つくる

島津氏の庭師であった流れをくむ植木の生産に比べて、市内の花の生産は、まだ少ない。台風のほか、降灰という自然条件、地価が高く広い土地の確保が難しいなど花の栽培には不利な要素がある。しかし、高い収益を上げるために、ハウスなど施設での高級花の生産が少しづつ伸びてきている。最近は脱サラで始める人もいて、魅力のある仕事として若い後継者も育ってきている。消費地に近い有利な条件を生かし、さらに大きく花の生産が伸びることを期待したい。

■スカシユリ…花が開いてしまうと商品にはなりません。消費者に好まれる品種の選択が生産者には要求されます。

～岡之原町～

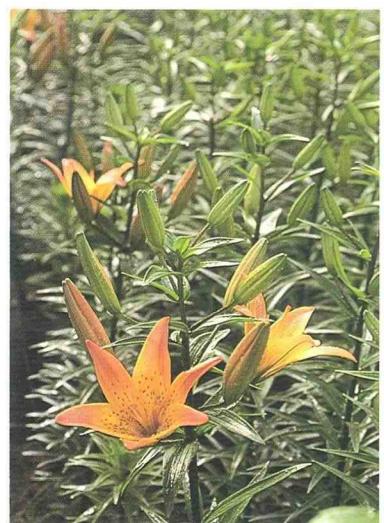


■シンビジュム…需要が高いときに出

できるように温度管理が大切です。

花の姿を整えるためにリールで支えて

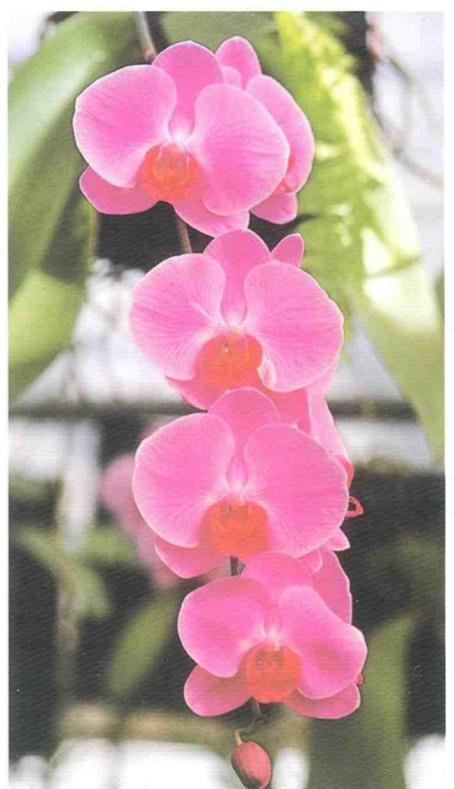
あります。～岡之原町～



■品質向上の励みになる花の品評会



■サイネリア…1鉢ごとに入念にチェックしてから出荷されます。～吉野町～



■コチョウラン(ファレノプシス)…バイオによる品種改良が進んでいます。年間を通じて出荷するために、温室内にクーラーまでありました。～下福元町～

■バラ…ハサミに力が入ります。花をいたわりながら切る手つきも鮮やか。～吉野町～

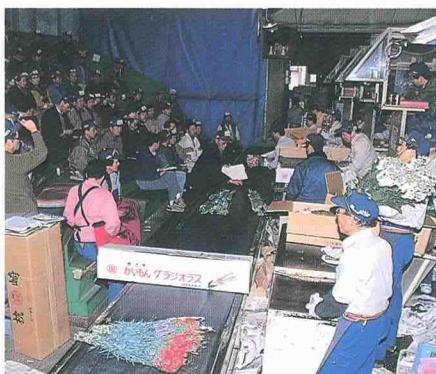
# とどける

鹿児島市内には二つの花市場があり、市内・県内はもとより全国海外から運ばれてきた花がせりにかけられる。花の需要は景気に大きく左右されることがないようだが、春は需要・入荷ともに多くなって、値段的にも買い求めやすくなる。

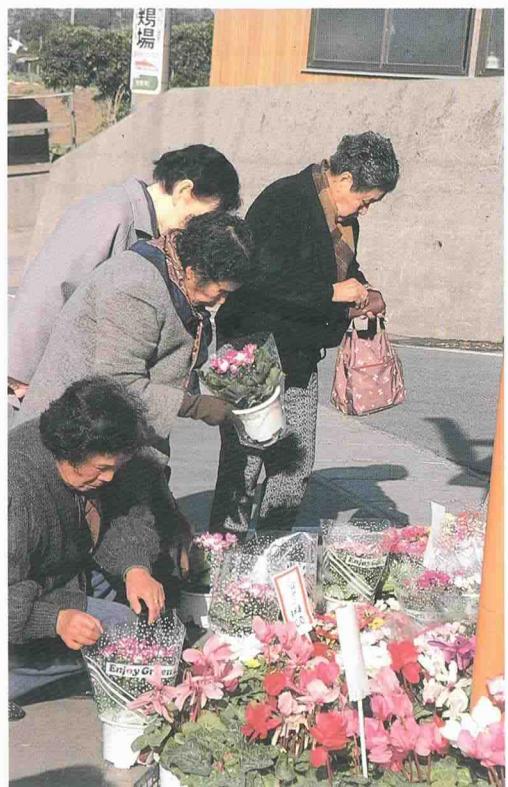
店先に並ぶ花は種類が豊富で、時として季節感さえ失わせることもある……。桜島の灰が降る日、客足が少なくなってしまうのが鹿児島なりではの悩みだそうだ。



■花市場では切花と鉢花・植木類のせりが別々な日に行われます。大量の花が次々と、驚くほどの早さで競り落とされています。



■男女を問わず、花を買い求める若い人が多くなっているということです。～与次郎一丁目～



■道路端の無人販売所。美しい彩りに地元の人ばかりでなく、通りすがりの人も足を止めます。

～吉野町～

# ゆとり時代の“身近な自然”——増田松義さん(木市振興会会長)



人の人出です。市民の皆さんが春を待ちに待っていることが伝わってくるようですよ。

本市のおこりは明治時代からこれまで頑張ってきた先輩から大

切に受け継いできた市民行事として、すっかり定着してきました。客足が増えてきたのは昭和四十一年代からでしょうか。少しずつ白分たちの生活にもゆとりが出てきたいと思っております。

特に春の木市は初日からたくさ

たころからですね。

最近では街中だけではなく、家

これからは、家族みんなでのだんらんの機会が増えています。木

市を活用して“身近な自然”を楽しんでみてはいかがでしょうか。

きっと、花や緑が家庭内をパーツと明るく、和やかにしてくれるに違ありません。

# 木市で健康づくり！――川辺キヨ子さん(大明丘二丁目)



気に入ったものを探し、品定めをするのです。

私自身も含めて、買うときには花や緑の育て方をよく聞きますが、購入された方の中には途中で枯らした経験をお持ちの方も多いのではないでしょうか。

大切なことは、買う側も、売る

側も植物へのコミュニケーションを図ることだと思います。木市は、なるべく、”ゆとり”を持つて買うようにしています。

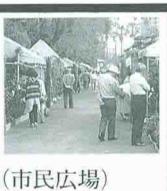
会場では、ワクワクしながら、毎回少なくとも一、二、三回は足を運んでいます。バスで行きますから、時間を気にしなくていいですよ。なるべく、”ゆとり”を持つて買うようにしています。

「今年もきましたねー、花は元氣

# 春の木市

—5月5日まで—

■開催場所／甲突川左岸緑地(市民広場)



■主な展示／庭園樹、緑化樹、草花、観葉植物

　苗物類、らん、おもと、盆栽、果樹  
　苗木、金魚、小鳥など。

## ●種苗の無料配布

4月23日(金)・11時30分、14時



## ●グリーン文庫贈呈

4月23日(金)・11時

## ●園芸講習会

4月29日(木・みどりの日)・14時

## ●花と緑の相談所(10時～15時)

4月25日(日)、4月29日(木・みどりの日)

5月1日(土)、5月2日(日)

※土・日や祝日は会場周辺が交通規制されます

　ので、ご注意ください。

【問い合わせ】鹿児島市農林課 ☎24-1111

# 木市

庭緑化も広がり、本当に市民の皆さんが花と緑を愛するようになつてきたなあと感じています。

働き過ぎの時代から”ゆとりの時

代”へ。

●明治30年代／磯庭園などで庭仕事をしている。た雀ヶ宮(現在の吉野町)の人たちが人員削減により、各自植木の生産に専念し、自宅でつくった植木を街角で売り始める。

●明治42年／雀ヶ宮・下田地区の植木や花栽培農家、市仲間の人たちが中心になつて吉野市木組合が結成される。明治から大正時代にかけて市街地の各地で大火災が発生し、防

火を兼ねた植木の需要が高まる。木市が中央公民館前で開かれ、戦災で焼けた市街地の大部分が焼失する。

●昭和22年／4月1日から15日まで戦後初の木市が昭和23年／朝日通りから七高前經由の電車が廢止されたあと、国道10号沿い(館馬場)を転々しながら、組合で決められた木市が開催される。植木や苗物の種類が増える。

●大正時代の初め／上馬場や広馬場通りなどを転々しながら、組合で決められた木市が開催される。木市が中央公民館前で開かれ、戦災で焼けた市街地の大半が焼失する。

●昭和23年／朝日通りから七高前經由の電車が廢止されたあと、国道10号沿い(館馬場)を転々しながら、組合で決められた木市が開催される。

●昭和23年／春の木市だけではなく、秋の木市が10月10日から30日まで開催される。館馬場に定着してきた木市は次第に参加者が増加し、車の通行などにも支障が出てくる。

●昭和33年／春の木市だけではなく、秋の木市が10月10日から30日まで開催される。館馬場に定着してきた木市は次第に参加者が増加し、車の通行などにも支障が出てくる。

●昭和35年／春の木市だけではなく、秋の木市が10月10日から30日まで開催される。館馬場に定着してきた木市は次第に参加者が増加し、車の通行などにも支障が出てくる。

●昭和40年／秋の木市から現在の甲突川河畔の市民広場に移転する。



昭和30年ごろの館馬場での木市風景

木市会場で聞かれるようになればいった元気なやりとりが、もつと自分で植物を育てる意欲も出てきまますし、木市も、ますます盛り上がりしていくのではないでしょう。

いまや鹿児島市民の一つのお祭りになってきた木市。

花や緑を育てながら、心と体の健

康づくりを楽しみましょう。本市で買ったものに実がなったり、きれいな花が咲いたら最高に気持ちがいいものです。

## 木市の歴史

やかになる。

# 基本を知って創造の楽しみを。

市花と緑の相談員 瀬戸 正徳さん



私は、生活と花と緑の関係について話をすると、たびたび、お

年寄りの健康や子供の情操教育への効用を取り上げます。つまり、緑の空気浄化作用が健康的な生活環境をもたらし、植物を育てる工夫がボケ防止になります。そして、細胞を刺激しない緑色と、精神安定剤的な役割をする植物物質・フィトニチッドの中のアルペン物質が子供の情緒安定や集中力向上に役立つのです。

## ＜基本は植物が育つ環境の整備＞

植物が生長するためには、栄養が多く蓄えられるための環境を整える必要があります。(図Ⅰ参照)

それぞれの習性に合った管理をすることで、美しい花や葉を鑑賞できます。環境は、光、温度、風通し、

## 湿度の四要素が基本になります。

### ＜光＞

植物は、葉(葉緑素)で行う光合成で炭水化物を作っています。そこで個々の植物がよく育つ適光量(例えば、コチョウランは四万七五

万ルクス)を知り、適度な日光浴ができる置き場所を決めることが大事です。これには、地上に届く太陽光の強さが場所や季節によつて違うことを理解する必要があります。(図Ⅱ参照)

### ＜風通し＞

濡れたタオルに風を当てるとき乾いてきます。同じように、葉に風があたることで水分が蒸発します。

このことによって根から水分と一緒に土壌の養分が運ばれます。特に室内で風通しが悪い場合は扇風機の風を間接的に当てるような工夫

があります。環境は、光、温度、風通し、湿度、水やりは午前九時ごろ

までには済ませたいものです。

### ＜湿度＞

個々の植物にとっての適切な温度は、原産地の環境に近い温度といえます。適温の上限よりも気温が高くなると、呼吸作用が大きくなつて、生育に用いられる養分の蓄積が悪くなります。

また、光合成は午前十時から午後一時ごろまでが最も活発に行われます。光合成に必要な水は根から吸収されますが、水やり後一時間程度経過したときからが最大吸収となります。

### ＜土壌の養分吸収には呼吸作用＞

土壌の中の養分(肥料)は、プラ

の粒子の表面(マイナスイオン)に引きつけられ、保存されています。その養分をマイナスイオンの電気を帯びた根の表面が引きつけ、根の内部に吸収されていきます。

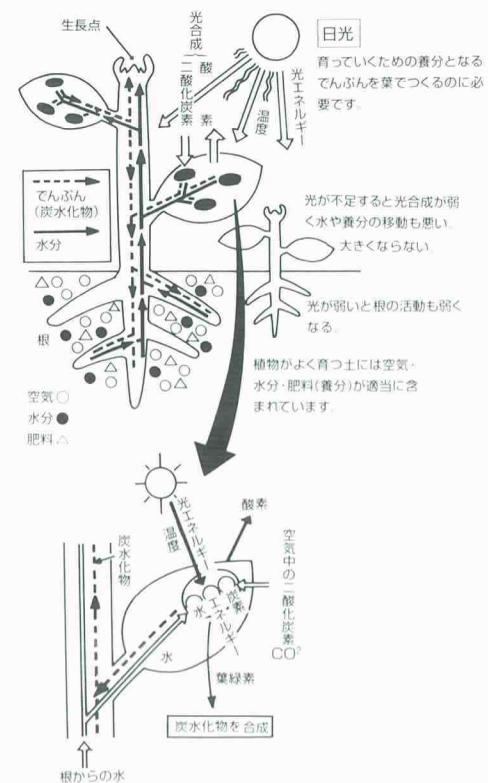
根が養分を吸収するためにはエネルギーが必要とし、呼吸作用によつて得られます。そのため、

活発な光合成と十分な水やり、そして、根に酸素を送り込むことが大事になります。

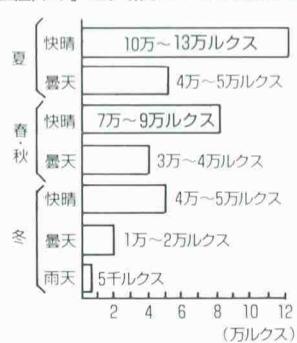
### ＜ハイインテリアとして楽しもう＞

花と緑を室内や室外のインテリアとして楽しもうという機運が高まっています。家具と調和させ、照明に工夫をすることで、いつでも生活に潤いをもたらすことができます。環境は、光、温度、風通し、湿度、水やりは午前九時ごろ

(図Ⅰ)植物の生長に必要な条件



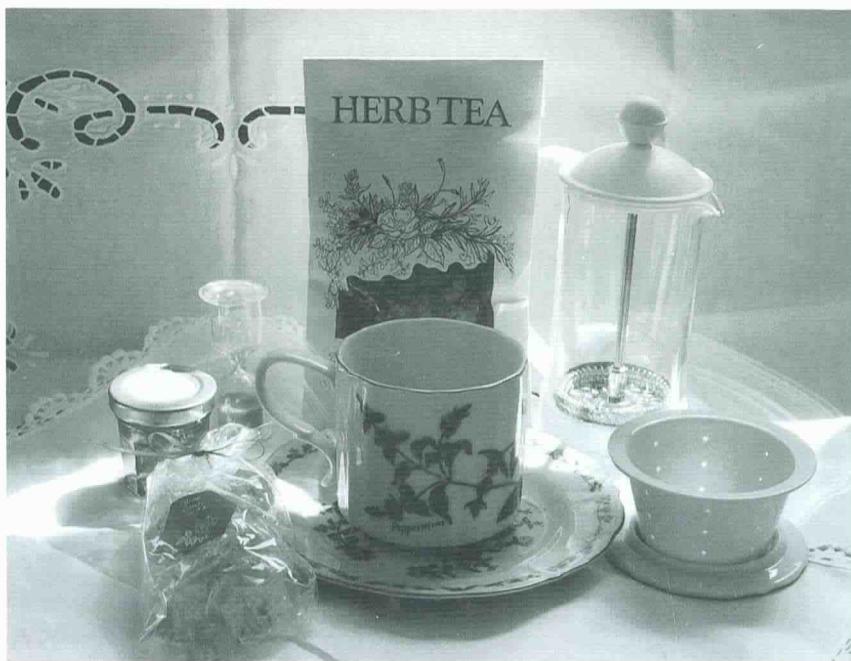
(図Ⅱ)四季と天候による光量の違い



自然のさわやかな香りを醸し出すハーブ。「薬草」とか「香料植物」と訳されますが、代表的なラベンダー・ミント、ローズマリーをはじめ、身近にあるミツバ、シン、ニンニクなども含まれるなど、たくさんの種類があります。ストレス解消や体にも良いというこのハーブ。料理はもちろん、人気の高い草花です。

忙しさの中に自分を忘れるがちになる今日このごろ。暮らしの中に自然を取り入れ、自家製のハーブティーで午後のひとときを過ごしてみてはいかがでしょうか。

# ハーブ HERB



## 『ハーブの利用あれこれ』

- ①お料理にも…風味づけや飾りはもちろん、保存料としても利用可能です。オレガノを使って本格的なイタリア料理に挑戦しませんか。お料理に向くハーブとしては、オレガノ、キカラウエイ、サマー・セボリー、スイート・マージョラム、ミント、ローズマリー、バジル、パセリなど。魚や肉の保存向けとしてタイムもあります。
- ②ハーブティー：カモミールティーは花を乾燥させて、ひとつかみポットに入れ、熱湯を注ぎ2～3分おいて出来上がり。さわやかな風味が香ります。ほかにミント、レモングラスなども適当です。
- ③お風呂にも…浴槽にハーブの葉を浮かべたり、リンスや石鹼にも加工でき、手づくりの香りが楽しめます。ミントやローズマリー、レモングラスなど。

※ほかに染料としても自然の色合いが美しくまた、花束の中に添えるなどの利用法もあります。あれこれ試して自分流を発見してみてはいかがですか。

## ハーブが好き！

国吉リキ子さん(桜ヶ丘六丁目)



■香りと味わいの世界

す。

また、わが家ではお客様にレモングラスのハーブティーを出しますが、これが大好評。庭にあるレモングラスの茎をみんながちぎつて持つて帰るほどです。

あと、食用では肉や魚料理にちょっと使いますと臭みが消えてすてきな香りの料理に変身します。

これは是非お試しください。

ハーブに凝りはじめて四年になります。最初は鉢から始め、今は三十種類以上のハーブを庭や温室で栽培しています。

ハーブの良さは五感で楽しめることがあります。お風呂に入れれば薬草効果で疲れは取れるし、乾燥させてボブリをつくったり、香水代わりにしたりと色々な楽しみ方ができます。

他の植物にはない不思議な魅力がいっぱいのハーブ。あなたも始めてみませんか。

「花を見て怒る人はいない」花と緑は心の糧。花と緑は「心を豊かに、健康してくれる」存在であると語られます。昔から花と緑とはなじみの深い私たち「鹿児島の人」は、まさに「心豊かで、健康的な人々」といえるでしょう。

現代は忙しい時間とゆとりの時

間のメリハリがついた生活を望む時代です。自分の生活を大切にする

機運が高まるなか、静かな空間を与えてくれる花と緑が見直され、新しい関係も生まれてきています。あなたも花と緑との関係を工夫して、もっと楽しんでみてはいかがでしょう。

クローズアップ

# LOSE UP



## 県立鹿児島盲学校教諭 玉利 信二さん

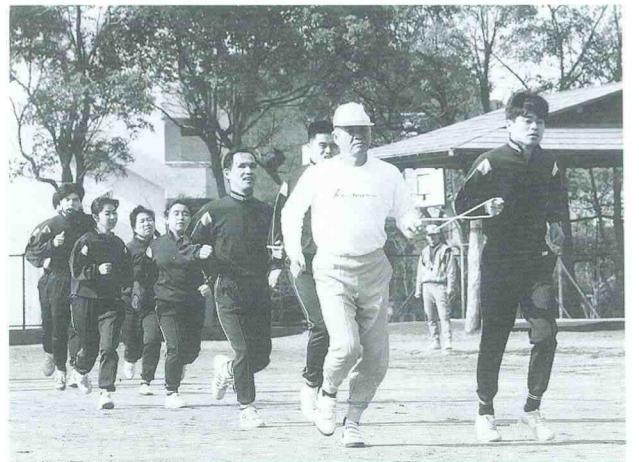
### 【プロフィール】

普通高校の国語教諭として教壇に立っていたが、視力障害が進み四十歳の時転科。東洋医学を学んだ後、県立鹿児島盲学校の助手をしながら、夏ごとに筑波大学に通い、平成元年、盲学校教諭の資格を得た。

昨年十一月六日に宮崎市で開催された世界盲人マラソン大会五十歳以上、光覚の部で21・0975キロを走り優勝。同部全体でも五位に入った。

下伊敷町在住。五十六歳。

世界盲人マラソン大会ゴール前の力走



生徒とともに校内で走ることも……。

文／柴立浩・南日本新聞社記者

13

授業中、辞書の文字が不鮮明になり、次第に目は悪くなつていった……。今では光と物の影がぼんやりとしか映らない。しかし、玉利さんの人生は常に前向き積極的。昨年暮れ、宮崎市であつた世界盲人マラソン大会五十歳以上、光覚の部に出場、見事に優勝した。玉利さんの活躍は障害者に大きな夢と希望を抱かせるものだ。

「辞書や教科書の文字が読めないことが国語の教師として一番つらかった」と振り返る。いく日も眠れぬ夜を送った末、国語という教科に未練を残しつつも転科を決めた。

人生の転機。盲学校教諭の資格に合格。鹿児島盲学校で再び教育者としての道を歩むことになる。

長距離は子供のころから好きで、得意。高校時代は陸上部でならしめた。身長一七一cm、体重七〇kgの体格からは信じがたいが、小学生時代は虚弱体質だった。弱い体を鍛えようと思い走り始めた。走ることだけでなく、本来は柔道、野球もこなすスポーツマンだ。「だけど、目がこんな状態では柔道、野球はちょっとねー」。結局、自分に

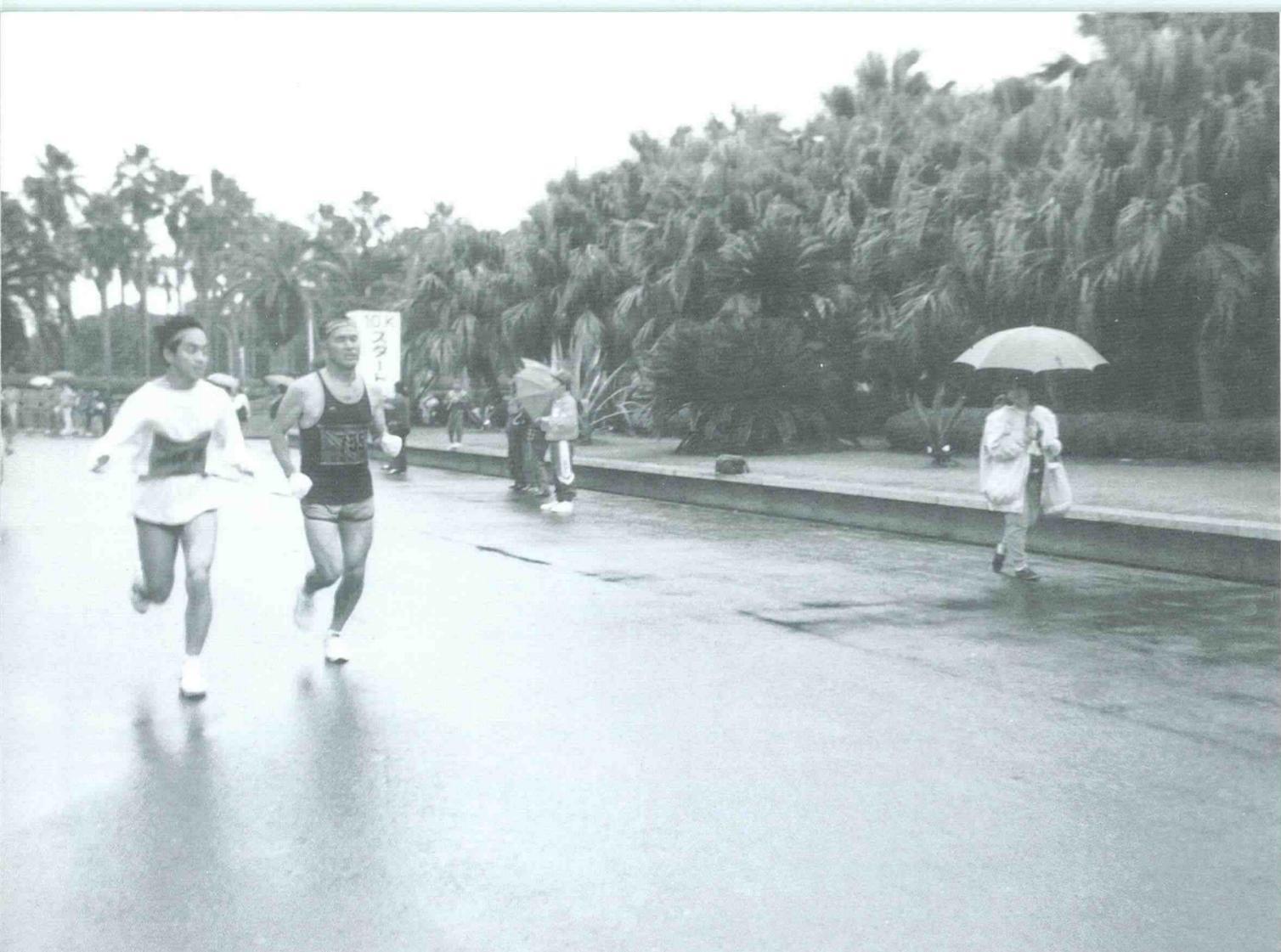
は走ることが残ったわけですよ」と笑う。

大会当日、宮崎地方は朝から激しい風雨になつた。最悪のコンディションの中、大会への参加を勧めてくれた長男をパートナーに走つた。それはそれでいい。妻には妻の新しい人生がある」。返事は「ついて

を掛け合いながら走るんです。息子の存在は頼もしかつた」。半分を過ぎた辺りから足が痛み出しペースが落ちる。それでも、長男の応援をバネに走り切つた。妻の姿があつた。風雨は既に止み、日が差していた。

天気が許せば毎日、妻に連れて自宅近くの道路を黙々と一人走る。奥さんといい息子さんといい、玉利さんの周りには励まして助けてくれる人がいつも側にいるんだな、と思う。

「私のように援助者が常に身近にいることが条件」と前置きしたうえで、玉利さんは「たとえ身体が不自由でも、その人の生き方が不自然わけではないです。悲觀する必要など全くない」と言う。その言葉には障害にめげず、絶えず前向きに生きてきた人のみが持つ重みを感じられる。





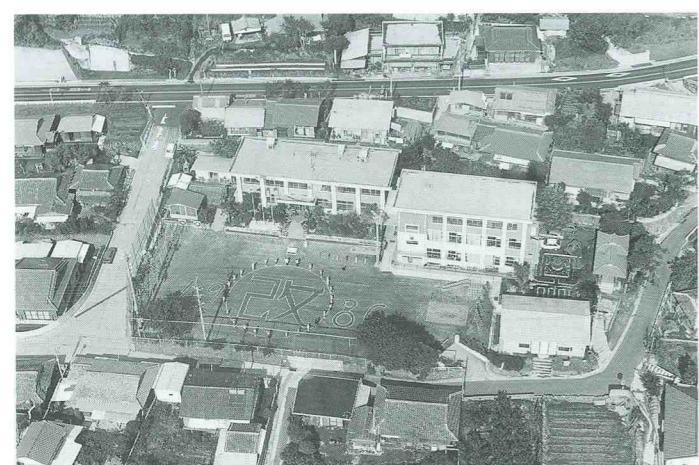
■桜島を形どり「ハイ、ポーズ!」われら仲良し改新小ファミリー。



■新1年生2人を迎えての「ふれあい給食」～3、4年生による歓迎のレクリエーションで会場は大いに盛り上がった。



■運動神経は、みんな抜群! 一輪車もお手(足?)のもの。



■114年の歴史と伝統を誇る改新小。近くには桜島の温泉郷「古里温泉」と「林 芙美子文学碑」がある。



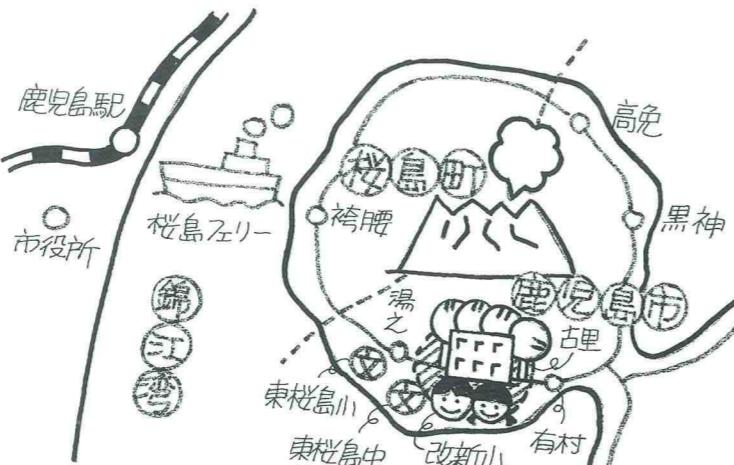
■1、2年生いっしょの授業風景～ なごやかで楽しい雰囲気が教室に漂っていた。



■ラインダンスを踊っているわけではありません!? 夢は大きくJリーグ。



■郷土の名人に学ぶ～ ススキの手ぼうき作り教室。



# 学校探訪 改新小学校

●創立…明治12年5月 ●児童数…12人(平成5年3月1日現在)



■現在、市の無形民俗文化財に指定されている『島廻り節』。火の島・桜島の歴史と文化が脈々と子どもたちにも受け継がれている。

私たちの改新小学校は、桜島の南側——林 芙美子文学碑で有名な古里町にあり、錦江湾をはさんで遠く市街地を望む高台にあります。現在、児童数は十二人ですが、今年で開校百十四年を数える伝統ある小学校です。私たち改新小の子は、朝、登校すると、一年中はだかでランニングやかんばまさつなどをします。また、昼休みは先生方と一緒に遊んでいます。

改新島廻り節

私たちの自慢の一つは、一年生から六年生まで全員が一輪車に乗ることです。仲よし体育やクラブ活動の時間などに、輪やボールなども使って練習しました。

ボランティア活動にも力を入れており、一人ぐらしのおじいさんたちの家に行って、草とりやおそうじなどをしたりしています。

次に特徴のある活動を紹介します。

人数は少ないけれど、「つよく、やがいもを自分たちで栽培する「ふるさと体験学習」です。種から実ができる、それを収かくするときは、うれしさでいっぱいです。

また、私たちは「島廻り節」の伝承活動を行っています。桜島が島大会がありました。桜島が島男子は方言のげきで、女子はおどりで表現するのが、わたしたちの「改新島廻り節」です。

やさしく、かしこく」の校くんのとおり、私たち桜島・改新の子どもたちは、みんなで手をとりあってこれからもがんばっていきたいと思います。

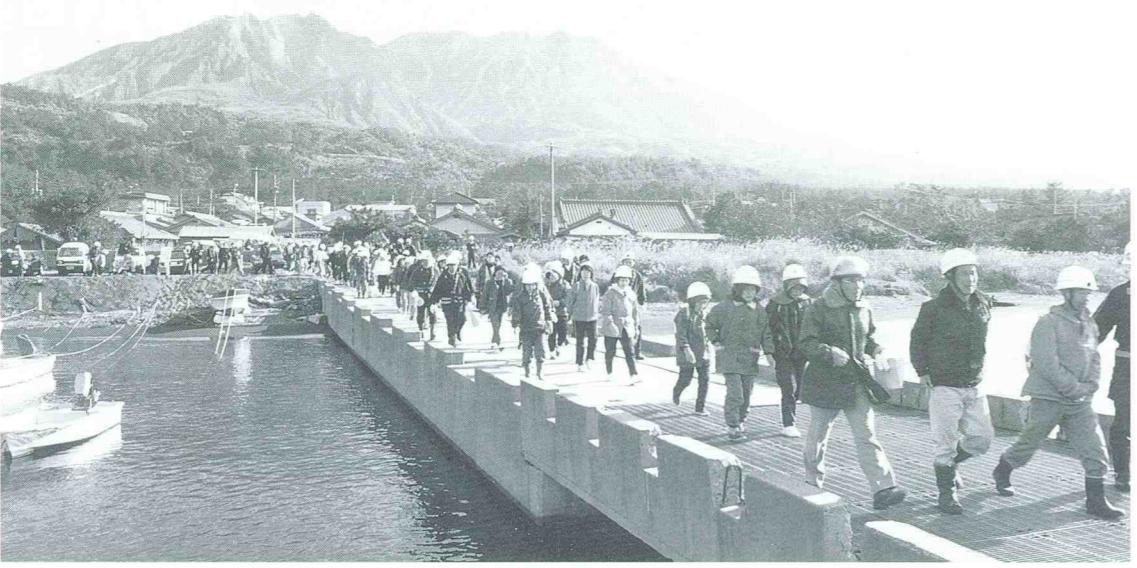


「二十四のひとみ」の  
改新つ子

六年 徳重 朝とも  
竹下 紀公子さん

わたしたち

# カメラとぴっくす



1月12日／桜島火山爆発総合防災訓練

桜島の大正大噴火を教訓に昭和46年から始まったこの訓練。約5,000人の参加者は万一の大噴火に備え、真剣な表情で、整然と訓練を行っていました。



1月21日／第4回 中南九州都市サミット

都市サミットでは鹿児島市、宮崎市、熊本市、大分市、佐賀市の5市長がウォーターフロント開発や都市間交流などについて活発に意見を交換し、5都市の交流拡大を確認し合いました。



2月17日／千葉ロッテマリーンズキャンプイン

プロ野球の千葉ロッテマリーンズが春季キャンプのため鹿児島入りし、その歓迎式がみなと大通り公園で行われました。式では八木沢監督が来季にかける決意を述べ、集まった市民も盛んに拍手を送っていました。

# カメラとぴっくす



12月19日／新型電車「大垣号」の発表

交通局の2両の新型電車の発表会が鹿児島駅前電停であります。2両のうち1両はフレンドリーシティーの岐阜県大垣市にちなんで「大垣号」と名付けられました。



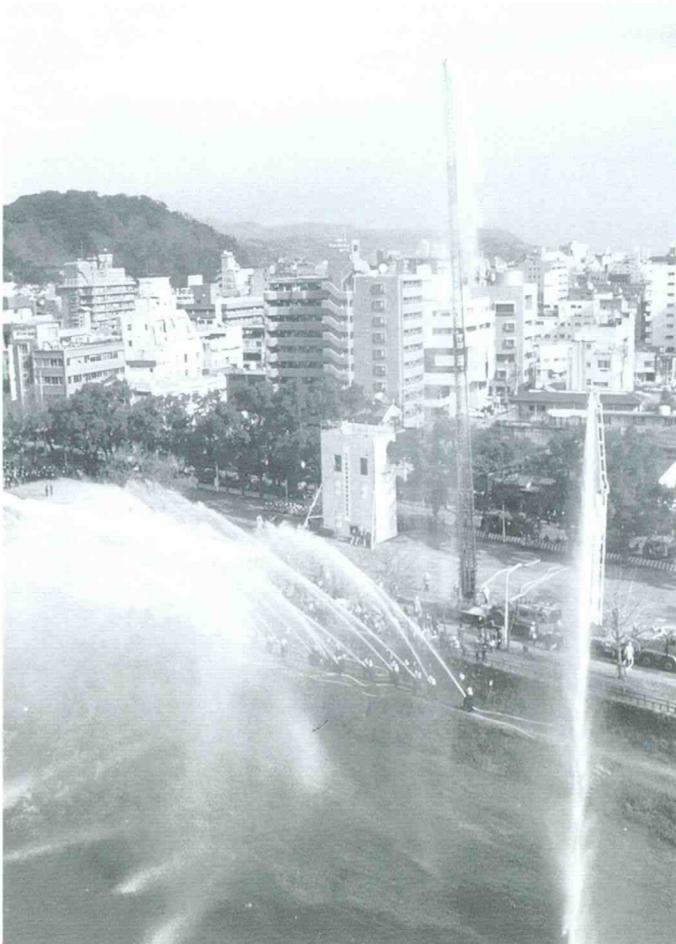
11月30日／赤崎市長三選果たし初登庁

前日の選挙で再選を果たした赤崎義則市長が職員の歓迎のなか登庁し、「南九州の中核都市を目指し、ともに積極的な努力をしていく」と抱負を述べました。



1月15日／新成人のつどい

市民文化ホールで「新成人のつどい」が行われ、約4,500人の新成人が晴れ着で式典に参列しました。式典では赤崎市長が「チャレンジ精神を大切に」と、新成人を激励しました。



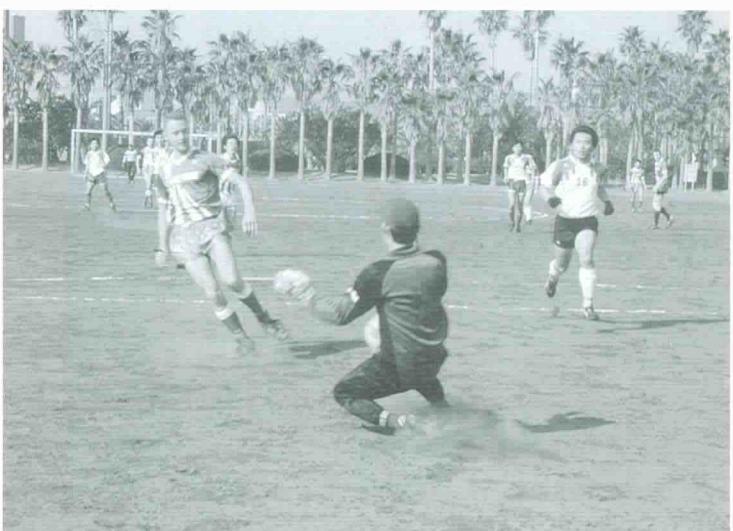
1月6日／消防出初め式

新春を飾る消防出初め式が甲突川左岸市民広場で行われました。式では消防隊員らが隊列行進やレスキュー訓練など、日ごろの訓練の成果を披露しました。



1月5日／中央卸売市場の初せり

中央卸売市場の魚類市場と青果市場で恒例の初せりがありました。魚類市場では、水揚げされた魚を前に朝早くから威勢のいいせり声が市場にこだましていました。



スポーツを通してふれあい、交流を深めようという「第三回国際交流サッカー大会」が二月十三日と十四日の両日、県立鴨池補助競技場で開かれました。

大会には鹿児島大学の留学生や外国语指導助手らの混成チーム、韓国・利川青年会議所のチーム、地元の日本人チームなど八チームが

参加し、英語や韓国語、日本語が飛び交う国際色豊かな大会となりました。

大会二日間とも快晴で絶好のスポーツ日和。暖かい日差しを浴び

和やかな雰囲気の中にも、試合が始まると皆真剣な表情でボールを追い、熱戦が繰り広げられました。

本国イギリスで七歳からサッカーを始めたという大会唯一の女性プレーヤー、アシュレー・アルサップさんは、男性選手顔負けの果敢なタックルを披露して、周囲を驚かせていました。

また、今大会のために熊本から駆けつけたというサイモン・ヴァリスさんは見事にシュートを決め、「チャンスを生かしてうれしい」と満足

優勝した国際サッカーカラーブのムルシード・イブラヒムさんは、前大会がイスラム教徒の断食の時期にあたり、試合中苦しかったそうですが、今年は時期がずれたため、はつらつとプレーでき、「今年で留学生活が終わるので、とてもいい記念になりました」と、心地よい汗を流していました。

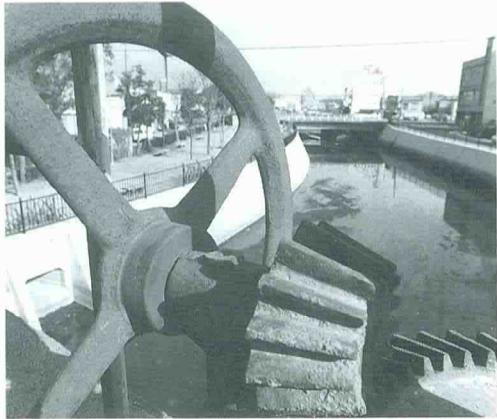
スポーツに国境はないと言われるよう、文化や言葉の壁を超えて、グラウンドの内外で交流の輪が広がっていました。

# CITY ANGLE

シティーアングル

## 水門

すいもん



■水門の上から清滝橋を望む。ほのかに潮の香りがした。



■永田川と滝之下川の合流地点にある「水神」の石碑。  
(中山町)



■清滝川にかかる沖之村橋。古い水門を持ったこの橋は、周りのビル群の中でひときわ異彩を放っている。(甲突町)

おだやかに晴れた春の日。陽光に誘われ、川沿いをぶらり。

ぬるんだ水の流れとたわむれるかのように、

水門は静かに、そこにたたずんでいた……。



■水門の向こうは海。広い貯木場がある。(東開町)

# わたくしの散歩道

鹿児島大学・学長 早坂祥三さん

## 「本物」と出会い、目的に向かつて！

昭和四十一年、東北大学から鹿

児島大学に赴任。文理学部が改組され、理学部ができたときです。

奥州仙台から車で鹿児島に入りましたが、自動車が少なく、道幅が広いことにびっくりしたものでした。当時の鹿大は校舎が今日ほど多くなかったことを覚えていま

す。

理学部とともに二十六年。

初仕事は、なんと現在、県文化

センターの恐竜化石展示室においてある本物の恐竜の組み立てでした。

私は恐竜の専門ではないですが、学生たちと一緒にになって頑張って組み立てたものです。

思い出しますね。いまでも、

暇ができると、時々文化センターに行つて懐かしがっています。

そうそう、理学部の玄関にも三・四億年前のボリビア産のサンヨウチュウなどの化石が置いてあります。日本では、ほとんど見られない貴重なものですよ。

化石などの研究は、はるか昔の世界に思いを馳せることができます。子どもたちには、こうした「本物」を見せていくことが感銘を与えていくのではないか。

構内で一番気に入っている所は大学本部裏にある農学部の実験林です。いろいろな種類の樹木を南九州一円から集めており、一種の植物図鑑的な空間をつくっています。

役所前の「みなと大通り公園」の方に白い船を浮かべ、きれいな錦江湾と桜島をうまく組み合わせると、鹿児島ならではの素晴らしい風景が出来上がると思っています。

最近では、まち並みもきれいになりましたが、特に鹿大周辺の街路樹には趣を感じています。

この通りを歩くと、仙台市のケヤキ並木や、昔、広瀬川べりを散策したときのことを思い出しますよ。市民に、ゆとりを与える風景や自然環境は本当にいいですね。

学長に就任してまだ間もないですが、学生たちと接する機会がめっきり少なくなりました。アメリカに留学している娘から

大学祭のときは、ここで学生た

ちがソバを売ったり、お茶会をしたり…、にぎやかですよ。

いまでは一般の方も通り抜けできますから、自由に植物観察やバードウォッチングなどを楽しむことができます。

大学の構内にある、うつそと

した「緑のトンネル」。

ここを歩くと落ち着きますし、緑におおわれた風景は、何か、山

の中に入り込んだ雰囲気を醸し出しています。

地元の大学として、ハード面は

南国鹿児島を思わせるヤシ並木

や法文学部から工学部にかけてのイチヨウ並木。鹿大のイメージづくりに一役買っています。良い感じですね。

いまの学生と自分の若いころを行っています。

「学長は学生と触れ合うことが少ないから、食事ぐらいは学生と一緒に！」とも助言をされましてね。そのせいではありませんが、学内を歩いてたり、お昼はよく学生食堂に行っています。

最近の若者たちからは自分から進んでやろうという気持ちがあり感じられません。安易な方向に流れる傾向があるようですね。

極端に言えば、私たちの時代は先生は何も教えなかつたですから。

ただ、後ろ姿を見ながら自然に勉強や研究に没頭したものです。本来の教育とは、そういうものではないでしょうか。

いろいろな体験の中で、感動を身近に感じている話が節々に伺えます。

さまざまなものへ出向いて、自然をさまざまな所へ出向いて、自然を

いろいろピアノを奏でる。現在、桜島・錦江湾などの自然環境を一望できる吉野町に居を構



▲入学式のころになると、クスの新緑やツツジがきれいですよ」と、大学周辺にも目を配る



▲サンヨウチュウの化石を前に研究者の目が光る!  
～理学部内にて

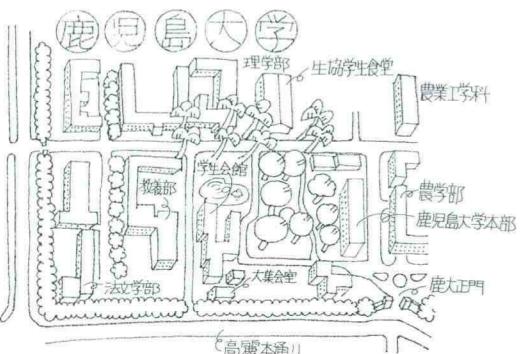


▲柔軟な人柄が体全体からじみ出ている



▲「入学式のころになると、クスの新緑やツツジがきれいですよ」と、大学周辺にも目を配る

～高麗本通りにて



### ●取材メモ

連日の春の陽気が一転し、取材日は冷たい北風が吹き抜けた。悪天候にもかかわらず、学内で気に入ったところを歩きながら、話や写真撮影に気軽に応じていただい

た。

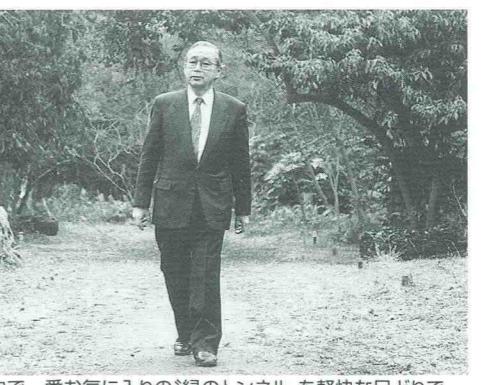
台湾生まれの先生にとって、小さいころ、内地（日本本土）へのあこがれが連綿と海や船、そして自然につながっていく。

専門は地質・古生物学。仕事柄

鹿児島に赴任して三十年近く。自宅では五歳のころから続けているピアノを奏でる。現在、桜島・錦江湾などの自然環境を一望できる吉野町に居を構



▲ノッポのヤシの木が鹿児島大学のメイン通りを飾っている



▲学内で一番お気に入りの「緑のトンネル」を軽快な足どりで

# 市民のひろば

「市民のひろば」はMBCから放送されます。放送日時は、毎月第3日曜日を除く日曜日の午前10時30分から15分間。ただし、第4日曜日は30分間。(この番組は平成5年2月28日に放送したものです)

**【出演者】** 敬称略  
野添武志(東桜島漁業協同組合長)  
中山トミエ(畜産高免町)  
吉原義秀(果樹栽培東桜島町)  
赤崎義則(鹿児島市長)  
上野知子(司会)

## 降灰の中でたくましく 東桜島の農業・水産業

桜島の降灰による影響が大きい中で、東桜島地区でも農業・水産業に多くの人が従事しています。自然と闘い、火山と共に存していくながら、いつかは昔の豊かな島になると希望を持ち続けている東桜島の皆さん。番組では、桜島で農業や水産業に取り組むゲストと市長が桜島の素晴らしさや将来への期待などについて語り合います。

### こよなく愛する

永遠のふるさと「桜島」

上野 鹿児島のシンボルといえば「桜島」。市長さんも市役所の職員として東桜島支所にも長くいらっしゃったそうですね。

市長 昭和二十九年から五年ありました。当時は、桜島の特産

であるピワ、ミカン、桜島大根、スモモ、キヌサヤエンドウなど農産物が何でもでき、まさに全盛の時代でした。当時の人口は約四千九百人でしたが、今は二千百人くらいに減って過疎化が進んでいます。しかし、降灰さえ止めば、往年の豊かな桜島に戻るという確信

東桜島のカリフラワーは青果市場でも人気があるようですね。

市長 そうです。降灰のない時期にカリフラワーを栽培され、素晴らしい品質で、青果市場の約六十五

%が野尻産のようです。

上野 素晴らしいですね。さて、吉原さんのピワの果樹園の映像が出ていますが、ピワのほかには何を栽培しているのですか。

吉原 溫州みかん、桜島小みかんを栽培しています。ピワは今段階では葉振りもいいし、今年はいいものが期待できそうです。四月中旬ごろから出荷が始まり、五月初旬ごろまで終わります。

上野 袋がけが大変手間がかかると伺ったんですが…。

吉原 一回目が十二月初めに袋の中に木毛を入れて降灰や寒害を防ぎ、品質のいいものを作るために行います。そして、霜の害がない二月から三月にかけて袋をあけ、木毛を取り除き、もう一回袋がけします。手間は延べ百五十日程かかります。

上野 そんなにかかるんですか。降灰で苦労なるのはほかに、どんなことがありますか。

吉原 降灰のときはマスクをかけたり、二重に帽子をかぶったりします。晴天のときの降灰は大きくなります。灰が落れば葉が落ちたり、果実に傷をつけ、農作物に大きな影響があります。

上野 本当に大変なんですね。

市長 市でも降灰に強い作物や、降灰のない時期に栽培できる作物の奨励、ハウスの中で降灰やガスの被害を受けないようにする施設化を進めています。



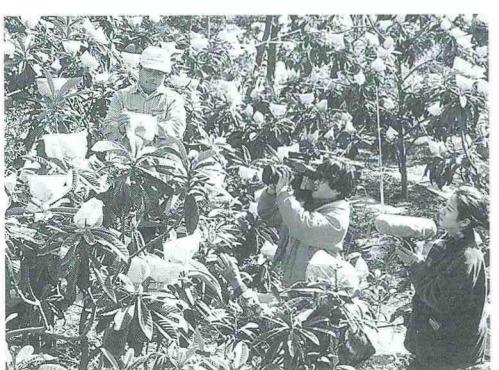
MBCスタジオで収録

吉原 溫州みかん、桜島小みかんを栽培しています。ピワは今段階では葉振りもいいし、今年はいいものが期待できそうです。四月中旬ごろから出荷が始まり、五月初旬ごろまで終わります。



上野 本当に頑張っていただきたい

桜島牛の生産に頑張る



吉原さんは、ピワの袋がけに忙しい

吉原さんは、ピワの袋がけに忙しい



上野 最近は降灰に強いツバキの栽培も盛んですね。

市長 ツバキ油は桜島の特産品の一つで、食用でも一番おいしくて健康にいいんですよ。

上野 吉原さんは、どんな抱負をもつていらっしゃいますか。

吉原 これからも桜島の降灰は続くと思いますが、降灰に負けず、温州みかんのハウスの施設をつくり、それから、ピワの現在の本数八百本を千本まで増やして、自分に自信のある品物を、すなわち、ピワが一個ずつでも口に入るようになります。再び宝の島になることを信じて頑張っていきます。

上野 本当に頑張っていただきたいです。

桜島牛の生産に頑張る



東桜島町の道元重義さんの  
キヌサヤエンドウは収穫の盛り



ですが、火山と共存できることを素晴らしい思い、桜島のことをいつも考え、こよなく愛して、一生ここに住んでいきたいです。

中山 灰の降る日は本当にいやだ

なーと肌で感じていますが、灰の降らない時は、やっぱり桜島は素晴らしいなーと思つて。桜島が大好きです。

野添 桜島の浜辺の麦わらぶきの家で生まれ育つた私には、桜島の晴らしいなーと思つて。桜島が大好きです。

吉原 降灰は大変ですが、桜島は自分の方親みたいなのです。最近では過疎化が進み、とても残念

を持つっています。

上野 宝の島と呼ばれていたんですね。この桜島で暮らしてい

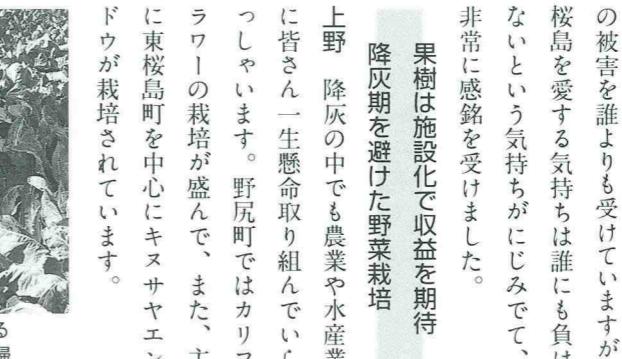
らっしゃる皆さんは、桜島をどんなふうに感じていますか。

吉原 降灰は大変ですが、桜島は自分の父親みたいなものです。最近では過疎化が進み、とても残念

せん。そして、桜島というところは夏は涼しくて、冬は暖かく、非常に住み心地のいい所です。

上野 市長さん、皆さん桜島のい所を見つけて、本当に愛していましたしやるようですね。

市長 桜島に住んでいる方は降灰



野尻町でカリフラワーを栽培する  
中村富士雄さんとフミさんご夫婦

の被害を誰よりも受けていますが、桜島を愛する気持ちは誰にも負けないという気持ちがにじみて、非常に感銘を受けました。

果樹園を避けた野菜栽培

上野 降灰の中でも農業や水産業に皆さん一生懸命取り組んでいらっしゃいます。野尻町ではカリフラワーの栽培が盛んで、また、主に東桜島町を中心にキヌサヤエン

ドウが栽培されています。

上野 牧草はすごくよく伸びるんですが、ドカ灰が降ったときは牧草の青い工サはやれない。それ

私のところの牛舎は天水を利用し

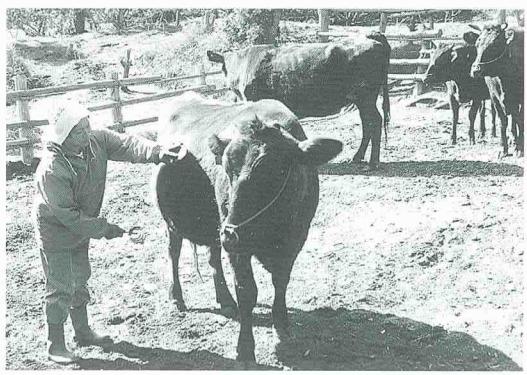
ているんですが、雨と一緒に灰の降るときは貯められないで水不足で困ります。

上野 いろいろとご苦労があるんですね。これから先は、どのようにしていきたいですか。

中山 生産牛も始めて二年しかなりませんので、もう少し牛も増やして、県外産に劣らないような足腰の強い桜島牛を育てていきたいと思います。

上野 楽しみですね。

市長 中山さんが住んでいる高免町は、私がいたころは鹿児島県一の豊かな町で、ビワとミカンの素晴らしいことができる所でした。ところが、降灰で壊滅的な打撃を受け、中山さんも畜産に切り替えられたようですが、自信に満ちた明るい表情を見て、非常にうれしいです。



牛に話しかけながら世話をする中山さん

い気持ちです。桜島はもともと畜産の盛んなところで、桜島牛は全国的にも名の通ったブランドの牛でしたから、これから生産から肥育まで一貫した経営で、できるだけ頭数を増やしてほしいですね。

そして、畜産と果樹を組み合わせた経営をなさると、素晴らしい畜産経営ができるいくと思います。

### 畜産と養殖漁業には

若い後継者も

上野 後継者はどうですか。

中山 子供は三人いますが、まだ畜産を始めて日が浅いもんですか

ら話したことではないです。これから機会を見て相談していきたいと思っています。

野添 養殖業者は若い後継者がいるのですが、一本釣りや刺し網の漁船

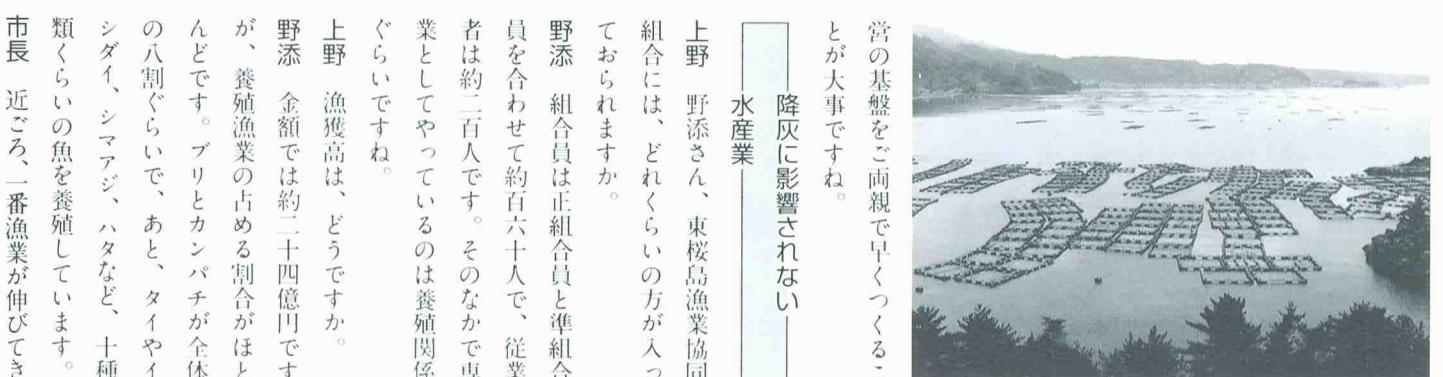
漁業は少なくて悩んでいます。

上野 吉原さんは後を継ごうと思つたのは、どうしてですか。

吉原 父は、農業は自分の代で終わりでよいと、いつも話しています。自分は七人兄弟の六番目で進学させ、家族のために黙々と頑張っている父親の後ろ姿を見て決心しました。

上野 そうですか。

市長 吉原さんが言つたように、子供たちが魅力を感じるような経験を持っています。



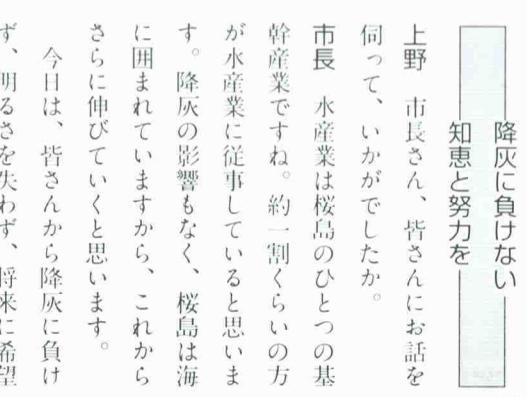
東桜島の養殖漁業は市内で一番の漁獲高を誇る

たのが東桜島です。市全体の漁獲高が約四十四億円ですから、東桜島漁協が半分以上を占めますね。海の環境汚染にも配慮なさいとあります。それと、死んだ魚のペレットというネリ状にしたエサを与え、さらに、毎日やっていたものを一週間に一日はエサ止めしています。それを、死んだ魚の一

上野 海の環境汚染にも配慮なさいとあります。それと、死んだ魚の一

野添 エサが拡散しないように、それを一週間に一日はエサ止めしています。それを、死んだ魚の一

野添 エサが拡散しないように、それを一週間に一日はエサ止めています。それを、死んだ魚の一



林英美子の文学碑(古里町)

降灰に負けない

知恵と努力を

上野 市長さん、皆さんにお話を伺って、いかがでしたか。

市長 水産業は桜島のひとつの中幹産業ですね。約一割くらいの方

が水産業に従事していると思いま

す。降灰の影響もなく、桜島は海

が水産業に従事していると思いま

# ふるさとの史跡

日本の朱子学は薩摩から江戸へ上った

## 桂庵玄樹の墓

県文化財保護指導委員  
西元

肇



桂庵の墓(左)と記念碑(右)



桂庵玄樹の肖像画(県立図書館所蔵)



桂庵公園の奥に墓がある



伊敷町の伊敷仮屋バス停付近、  
国道三号を川内方面に向いた右側  
に、桂庵小路と呼ばれている細道  
がある。この道の突きあたりの公  
園内に桂庵玄樹の墓がある。

桂庵は一四二七年(応永三四年)、  
山口に生まれた。四十歳の時、学  
僧として明に渡り、七年間、朱子  
学を修め、帰国したが、当時の日  
本は応仁の乱の最中であったので  
京都に上らず、各地を転々として  
朱子学を教えていた。

一四七八年(文明十一年)、島津家第

十一代忠昌の招きで鹿児島に来た  
桂庵は島津氏やその家来、僧たち  
に朱子学や禪学を教えた。

一四八一年(文明十三年)、日本最  
初の朱子学新註本『大學章句』を出  
版。また、漢文の読み方を返り点  
や送りがなをつけた日本読み(倭  
訓)する『家法倭点』を著した。こ  
れをさらに文之和尚が完成させ、  
泊如竹が出版した。

桂庵の教えは多くのすぐれた門  
人たちに受け継がれ、「薩南学派」  
という朱子学の学派もでき、薩摩

文教の基となり、薩摩独特の土風  
を育成するとともに、わが国の近  
世の文教にも大きな影響を与えた。  
桂庵は鹿児島に来てから三十年  
後の一五〇八年(永正五)、八十二  
歳で伊敷の東帰庵(現在墓があると  
ころ)で亡くなつた。

墓の隣に天保年間、伊地知季安  
が計画し、幕府の昌平坂学問所教  
官佐藤一斎が撰文、琉球人鄭元偉  
が揮毫した記念碑が建つている。  
一九三六年(昭和十一)に、「国指  
定史跡」となつた。



# 集えば楽し

# ノーサイド、まで、頑張るぞ！

鹿児島少年ラグビースクール



今回の“集えば楽し”的役は、白いヘッドキヤツプ、赤のジャージ、大きなラグビーボールを抱いてタップラインを目指す、かわいいラガーライドです。

県ラグビー協会が音頭をとつて昭和五十二年に発足した「鹿児島少年ラグビースクール」は、ラグビーと年ラグビースクール」という一つのスポーツを通じて、体力づくりや精神力を養うことを目

的とした市内唯一の小学生だけのラグビーチームです。

子供のラグビーと考えると、まず「大丈夫だろうか?」「危ない!」などと思う人も多いのでは…。

やモール(あたり)など、基本的な脇では練習着に身を包んだお父さんたちが大きな声を飛ばしながら、一緒に汗を流しています。

低学年のグループでは楕円形のラグビーボールと戯れながら、楽しそうな様子も。

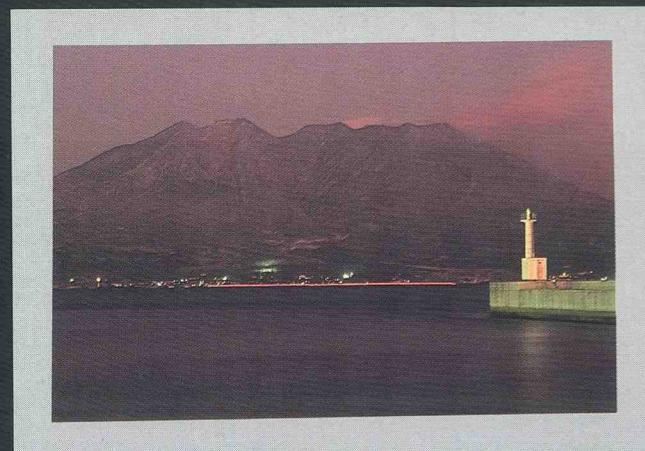
最近のサッカーチームにも負けないラグビー熱を守り続ける「鹿児島少年ラグビースクール」。

や、みんなで助け合うことの素晴らしいしさを少しでも感じとってくれたら」と、監督の竹之内照徳さんは力を込めて話します。

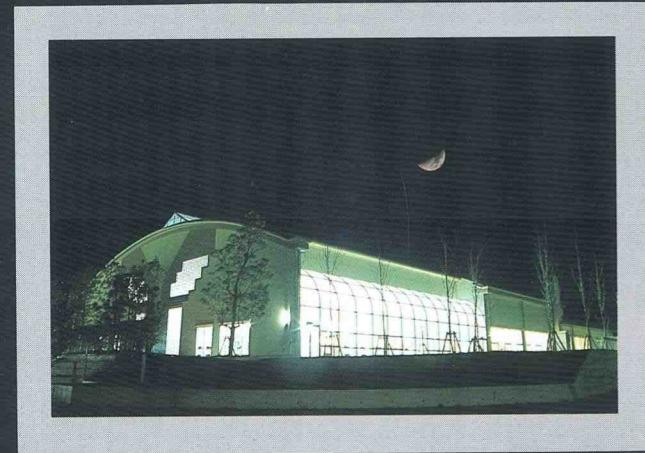
「将来の可能性を秘めた子供たちがラグビーを通じて、ねばり強さ土と戯れたい子供たち諸君!

コチの指導のもと、高学年のお兄ちゃんたちはランニングパス

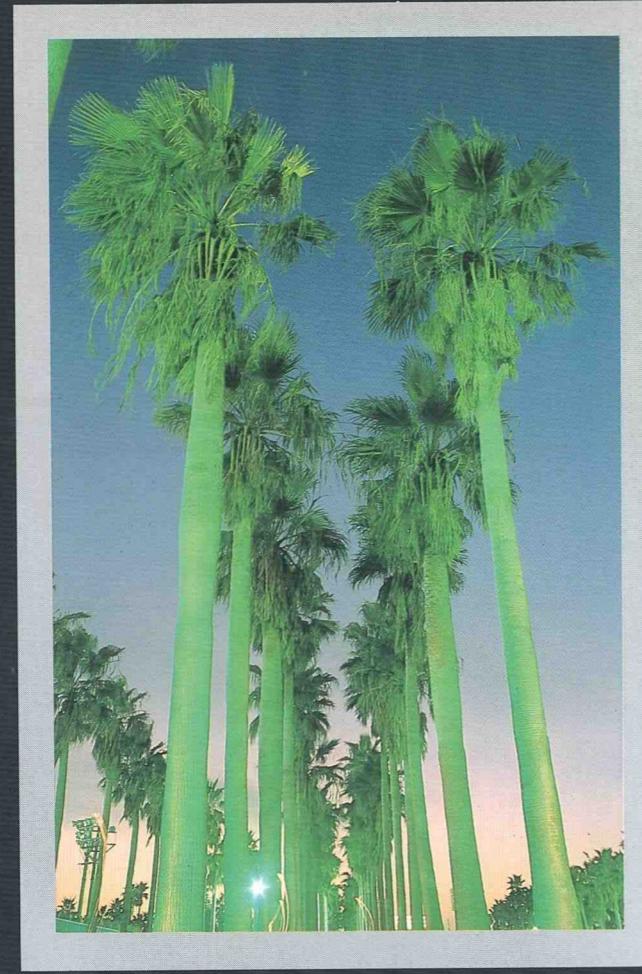
タッチライン目がけて独走トライしてみませんか。



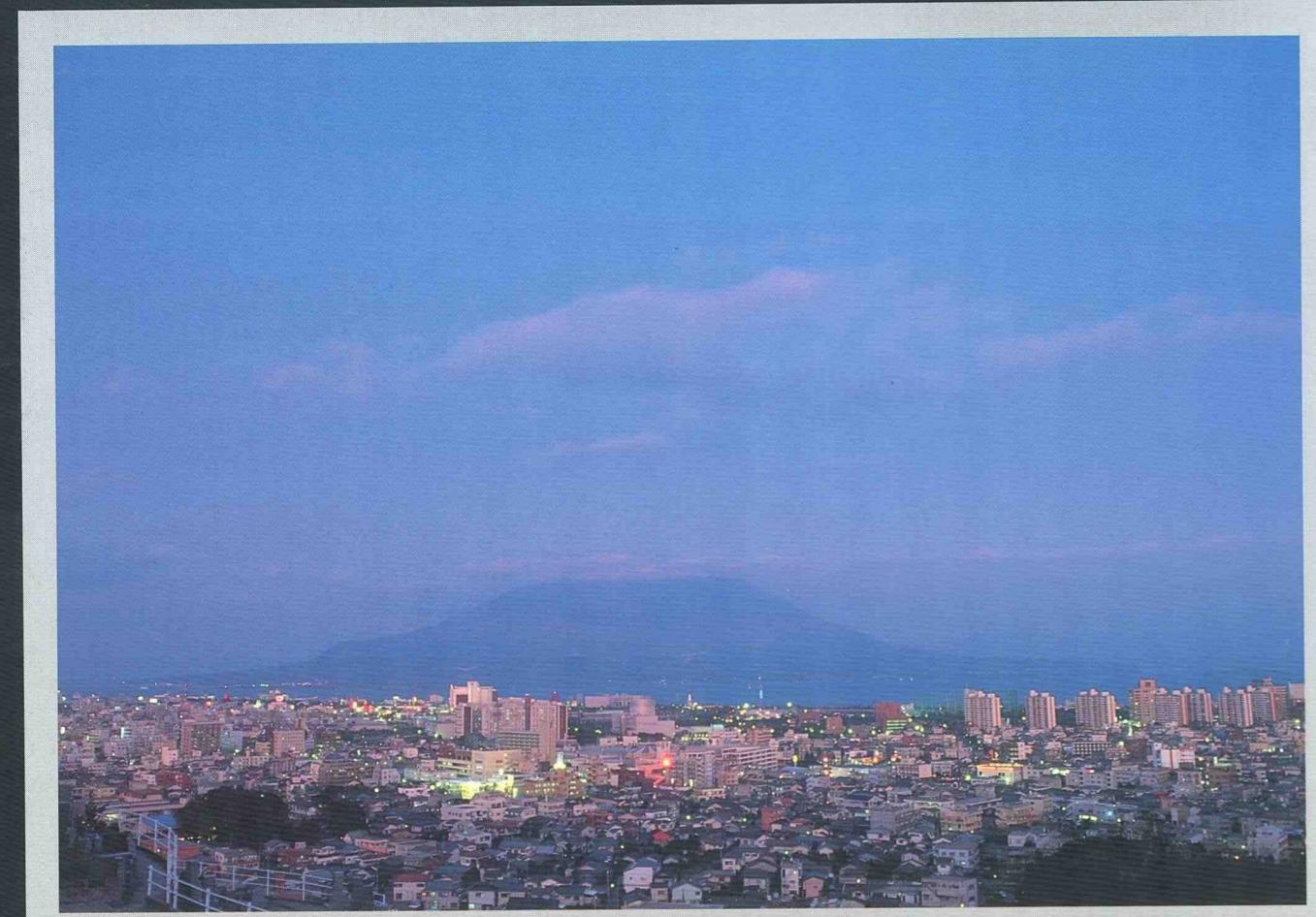
桜島(鴨池港から)



健康の森公園(二重露光)



鴨池公園

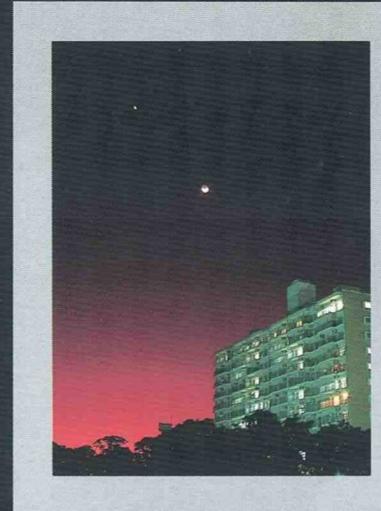


桜島と市街地(紫原から)

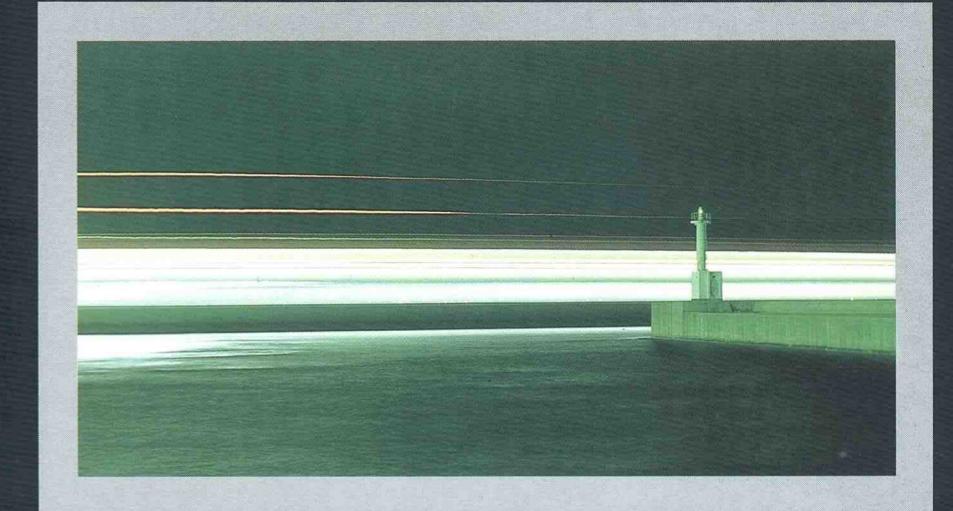
# あ・な・た・の フォトサロン

## 夕景 夜景 撮り歩き

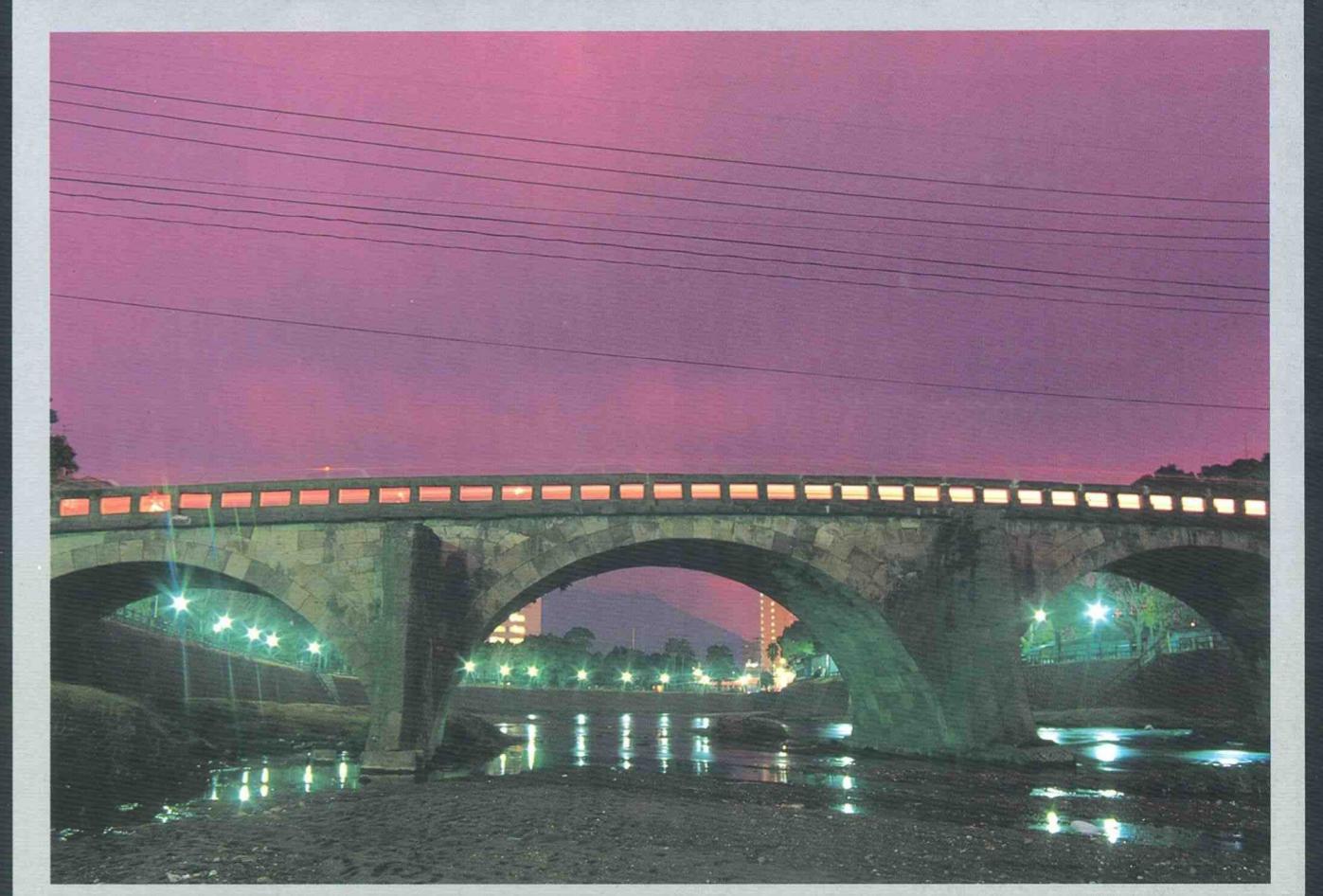
最近、鹿児島の街がライトアップされて、きれいになった。今回は主に夕景、夜景を中心に撮ったが、撮影中どうしても桜島が気になる。桜島が入る、入らないで大分違う気がする。やはり桜島は鹿児島の象徴。なくてはならない存在だし、被写体だ。これからも桜島を中心に撮っていきたい。写真と文／中尾英史さん



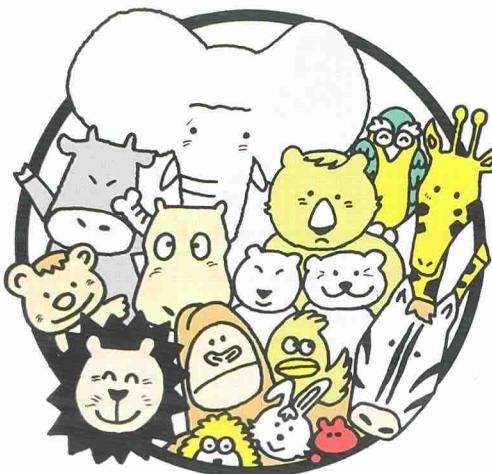
鴨池新町



鴨池港



高麗橋



# 動物公園の中かしあ仲間たち



ショウジョウインコ(リスの森)



ヨーロッパフラミンゴ(アフリカ園)



マカロニペンギン(ふれあいランド)



セイケイ(フライングゲージ)

今年の干支「酉」は、十二支の中でただ一つの鳥類。平川動物公園の八十三種類、約六百二十点の鳥類も例年以上にはりきっている!? 羽の色もいっそう艶やかです。

遊園地には、このほど観覧車も完成。あなたも観覧車に乗って、鳥になつた気分を楽しんでみませんか。

色とりどり



## 市立美術館

ぞう がん じ たい ざん ぼく おお ざら  
**象嵌磁泰山木大皿** (1976年)

サイズ(高さ15.0cm・口径91.0cm)

陶 器

宮之原 謙 (1898~1977年)

〈作者〉 明治31年、鹿児島市に生まれる。日本画を山内多門に学び、陶芸を二代宮川香山に、その没後は板谷波山に師事する。

波山や富本憲吉に続く、わが国陶芸近代化の旗手として、昭和4年帝展初入選以来、文展、日展の審査員を務めるなど活躍。昭和31年には象嵌(陶磁器に模様を刻んで他の材料をはめ込む技法)を中心とした作品で日本芸術院賞を受けた。

その技法は象嵌と彩磁に特色があり、建築家的なセンスで構築された形と整然とした構成的な文様で、端正で気品のある独特の作風を作りあげた。昭和52年没。



宮之原作品のほとんどについてただ一人助手を務め、また、厳しい批評家でもあった初子夫人の言葉によると、「七十歳を過ぎたら気ままに一人で焚ける窯が欲しい」と言つて、仕事場の一角に新しい窯を築いた作者の、特に、この大作にかける意気込みは非常なもので、その昼夜を分かたぬ打ち込みようは、傍らで手伝っていた初子さん的心を痛ませるものがあったそうである。

この作品で精根を使い果たしたのか、その翌年、郷土の生んだ一代の名工は七十九歳を一期としてこの世を去った。

当美術館には代表作のほとんどを含む、宮之原コレクション五十数点が寄贈されている。

# 市立科学館・宇宙劇場



## オムニマックス映画

人間のあこがれは空を飛ぶことにある  
**トウフライ**

■上映期間／平成5年6月13日(日)まで

スリルに満ちたアメリカの飛行の歴史を描いた作品。

**同時上映：「マジックエッグ」**

## プラネタリウム

■上映期間／平成5年5月30日(日)まで

不思議な宇宙の落し穴「ブラックホール」では  
たいへんな強さの引力が生じ、ガスやほこ  
りはもちろん、光さえも出てこられません。  
「どんなふうにできているのだろう?」「見  
えないのに、どんな方法で探すの?」こうした  
疑問に答え、ブラックホールの不思議な世  
界を紹介します。



鹿児島市立科学館 ☎ 50-8511

